平成25年５月９日

各　位

上場会社名　　株式会社ノリタケカンパニーリミテド
代表者　　代表取締役社長　種村　均
(コード番号　5331)
問合せ先責任者 取締役 執行役員 財務部長　加藤　博
(TEL　　052-561-7116)

第9次中期経営計画に関するお知らせ

当社は、ノリタケグループの新たな成長に向けて平成25年度から平成27年度までの３ヵ年について第９次中期経営計画（以下、「第９次計画」）を策定しましたのでお知らせします。

記

１、第９次計画の位置付け

平成22年度から平成24年度までの第８次中期経営計画（以下、「第８次計画」）においては、世界同時不況によって悪化した業績の立て直しと急速に変化する市場環境において安定的な成長性の確保を目指し、①事業の選択と集中、②新技術・新製品の開発強化、③海外市場開拓、④海外生産による原価低減、⑤経営インフラ整備の５項目を基本戦略に取り組んでまいりました。
第８次計画においては、東日本大震災、タイの大洪水など不測の災害に見舞われたものの、基本戦略の実現に向け、一定の進捗はありましたが所期の目標には程遠い結果となりました。
第９次計画においては、第８次計画の成果が極めて不十分であったことを反省し、第８次計画で掲げた基本戦略をより迅速に、より効果的に実現することを第９次計画の基本テーマとし、その実現に全力で取り組んでまいります。

２、第９次計画の基本課題

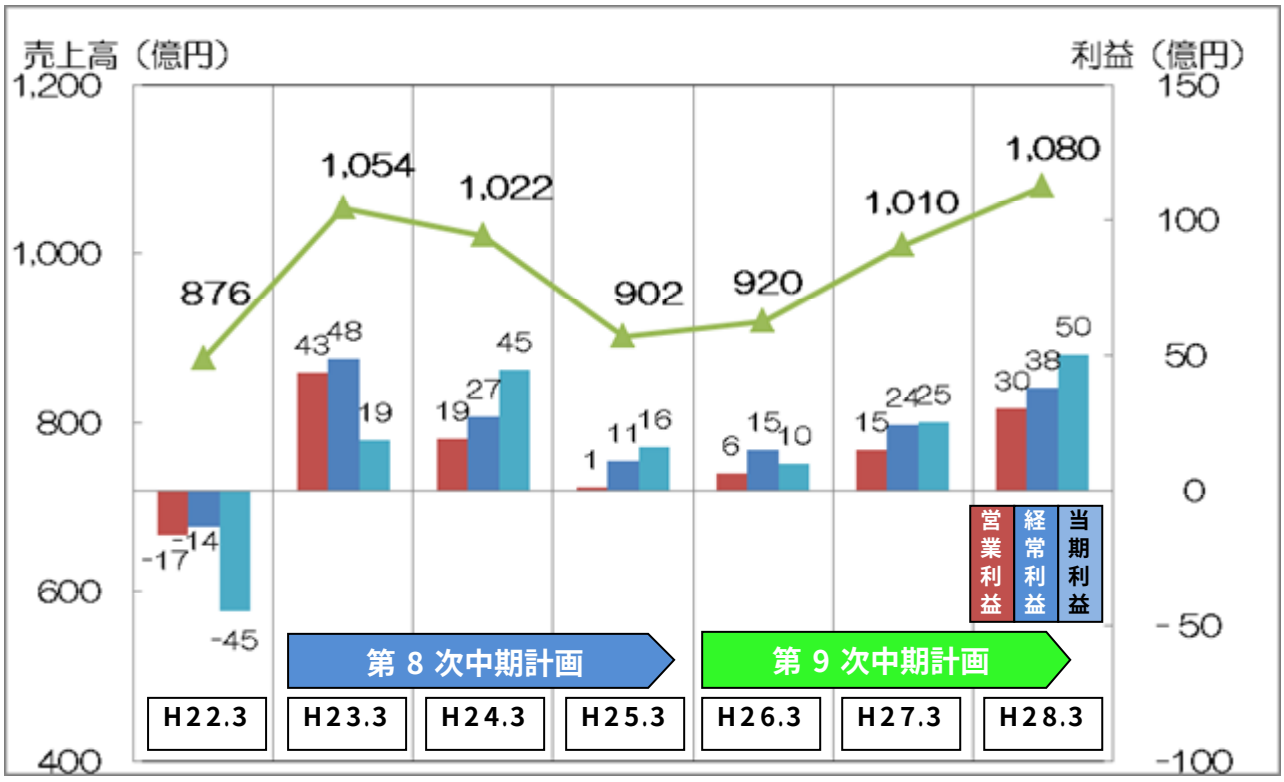
経営課題	・変化する市場に迅速に対応すると共に、激しさを増すグローバル競争下において安定的に成長できる事業体制、経営体制を構築する。
経営目標	・長期目標として売上伸長率５％、売上高経常利益率７％、自己資本比率50%以上維持、海外事業比率50%を目指す。 ・第９次中期経営計画は、長期目標実現の助走期間と位置付ける。
基本戦略	①価格競争力のある新技術・新商品を開発し、市場競争力を高めて売上拡大を図る。 ②海外生産拠点の整備を進め、海外市場の開拓と採算性の向上を図る。 ③効果的で効率的な経営体制及びインフラの整備を推進する。

３、第９次計画の事業戦略

工業機材	・海外生産拠点を活用して価格競争力を高め、日系顧客のほか、現地顧客への販売を強化し、売上の拡大を図る。 ・ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾜｲﾔｰの商品化を急ぐほか、各種用途向けの新商品開発に注力する。 ・三好工場に移転した新砥石工場のメリットを生かして高効率生産を実現する。
ｾﾗﾐｯｸ・ﾏﾃﾘｱﾙ	・電子ペースト事業においては、太陽電池市場の安定顧客向けの販売を強化する。 ・厚膜基板、石膏の海外工場を活用し、アジア市場の開拓を図る。 ・超微粒子原材料、透光性ジルコニアなど新製品の開発投入により、国内・海外市場の販路開拓を進める。
ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ	・海外生産・調達拠点を一層強化し、品質・価格両面での競争力を高めてアジア市場を中心に開拓を進める。
食器	・新興国向けの販路・販売体制を強化すると共に、高額商品、上質日常食器ｼｪｰﾙﾌﾞﾗﾝの商品拡充、販売強化を図る。

４、第９次計画の連結業績目標

第９次計画の最終年度である平成27年度の連結業績目標値は、売上高1,080億円、営業利益30億円、経常利益38億円、最終利益50億円です。



５、投資計画

第９次計画の３ヵ年では、約130億円の設備投資を計画しています。設備投資案件の主なものは、海外生産拠点の整備と本社工場移転関連です。

６、人員計画

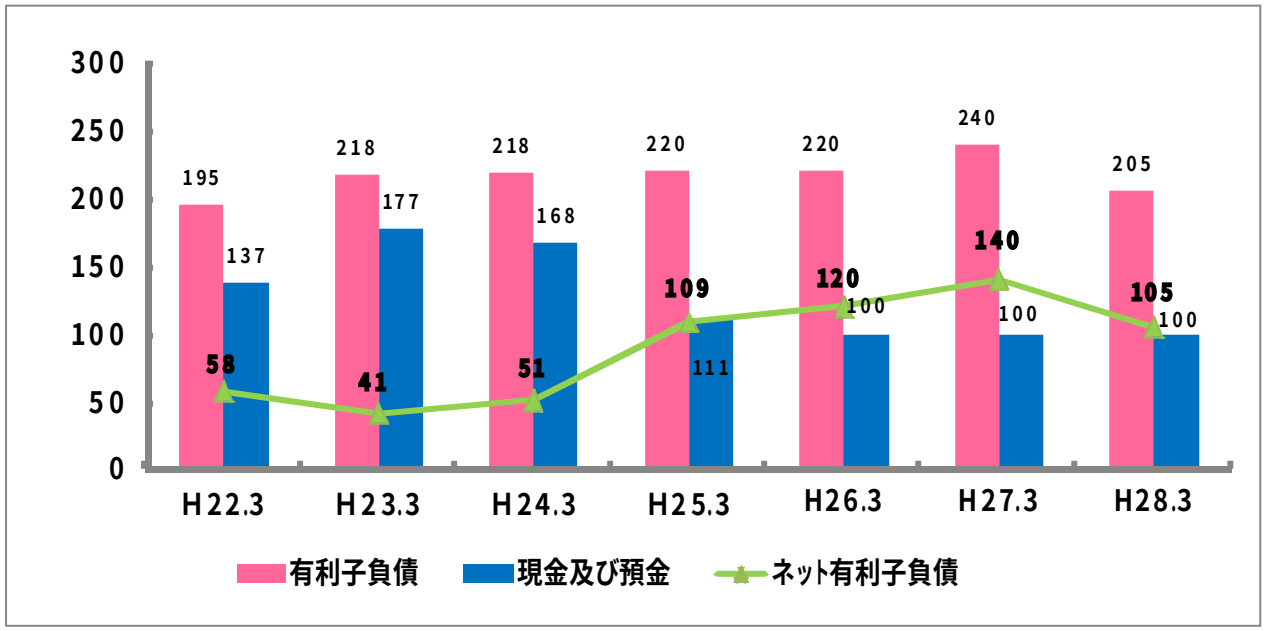
人員計画は、第９次計画の3年間に、国内人員で142名の減少、海外人員で228名の増加、合計では86名の増加を予定します。

期末人員数 （非正規含む）	平成25年3月期 実績	平成28年3月期 最終年度計画	３か年 増減
本　　社	2,515名	2,400名	-115名
ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社(国内)	1,005名	978名	-27名
ｸﾞﾙｰﾌﾟ会社(海外)	1,511名	1,739名	228名
合　　計	5,031名	5,117名	86名

７、有利子負債残高

第９次計画においては、海外生産拠点整備と本社工場移転関連の資金需要を予定しており、最終年度である平成28年3月期末の有利子負債残高は205億円、現預金残高は100億円、ネット有利子負債残高は105億円となる予定です。

（単位:億円）



８、海外事業の拡大計画

海外市場開拓や海外生産拠点の拡充を更に推進し、第９次計画最終年度において、海外売上比率40%、海外生産比率24%とする計画です。

	平成25年3月期	第９次計画		
		平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
海外売上比率	35%	33%	38%	40%
海外生産比率	15%	17%	21%	24%

以　上